

ミュージカル

# 大人の絵本の作り方

音楽

作 田中雅樹  
坪田京子・山下愛

登場人物・・・約5名

- ・涼子 女、29歳。絵本作家（志望）。
- ・剛 男、27歳。涼子の弟、起業家（だった）。
- ・アカネ 女、28歳。涼子の大学の同期。
- ・進行係 性別不詳、2人位。

## 舞台

現代、地方都市の郊外にある、昔飲食店だった体の1階の土間部分。  
上手袖に玄関（入り口）、上手奥にボロのソファと本棚  
下手奥に二階に上がる階段、中央の奥にカウンター。  
後は全体に、雑然と棚やカラーボックス、ダンボール。  
舞台の真ん中には簡素な作りの作業台。

## 季節

- ・プロローグ 冬
- ・1場 初夏
- ・2場 秋
- ・3場 冬
- ・4場 冬

## あらすじ

エロ本の挿絵を描いて日銭を稼ぎ、ギリギリの生活をしている絵本作家（志望）のアラサーの女の元に、会社を潰した弟が転がり込んでくる・・・

プロローグ

夜。薄暗い室内。床にはイスや本が乱雑に転がり、  
何かがあったかのように、荒れている。

男が、タバコを燻らせている。

車の走行音、時々差し込むヘッドライト。

遠く、かすかに救急車のサイレンの音。

剛

.....

男は、重い腰を上げて、部屋を片し始める

男が後ろを向くと、ズボンの尻は破けており、赤いパン

ツが中から覗いている

ハードボイルドな印象で、音楽始まる。

M1 「さかのぼれ時よ」

剛

♪痛いのは 頭だけじゃない

膝も手も財布も そして・・・こ「ウッ！」（腰が痛む）

進行係

♪さかのぼれ 時よ

剛

♪記憶をたどり 後悔しても

片付かないぜ 部屋も心も

進行係

♪さかのぼれ 時よ

さかのぼれ 時よ

剛

♪脳味噌の中 整理するため

進行係

♪さかのぼれ 時よ

さかのぼれ 時よ

剛

♪さかのぼれ 時よ！

気がつけば舞台に全ての登場人物が揃う。

涼子

♪ どうしていつも  
上手く行かない  
知ってるどうせ  
ずっとこのまま

アカネ

♪ 人生の喜びは  
お金じゃないの  
必要なのは  
愛と微笑み

剛

♪ さかのぼれ 時よ  
さかのぼれ 時よ

涼子

♪ あのところは まだ暑かった

アカネ

♪ 私の友達

♪ 私の絵は センセーショナルな

アカネ

♪ 素敵な友達 頼れるアナタ

剛

♪ 男にはある デツカイ夢が！

進行係

♪ 思い出せ 時を  
知りたい事だけ  
繰り返し 時を  
好きな所だけ

アカネ

♪ 現実には

剛

♪ 盛れない

涼子

♪ 映えない

3人

♪ 需要が無い

進行係

「だけど続く いつまでも  
長い 長い 坂道は  
いつも何故か 上り坂  
人生楽ありゃ苦もあるさ  
さよならだけが 人生さ」

進行係

♪さかのぼれ 時よ  
さかのぼれ 時よ

剛

♪俺のカネ

アカネ

♪愛と微笑み

涼子

♪私の人生を

全員

♪さかのぼれ 時を

さかのぼれ 時よ

さかのぼれ 時よ

さかのぼれ

プロローグ終わり。  
時が遡る。

1場①

聞き覚えのある前奏。  
ラジオ体操の音楽が聞こえる。

M2 「進行係の歌1（ラジオ体操の歌）」

地方都市の郊外、昔飲食店だった体の、1階  
の土間部分。

上手袖に玄関（入り口）、上手奥にボロのソファと本棚  
下手奥に二階に上がる階段、中央の奥にカウンター。  
後は全体に、雑然と棚やカラーボックス、ダンボール。  
舞台の真ん中には簡素な作りの作業台。

作業台にはパソコンと、資料が散乱している  
作業台に無様に突っ伏して涼子が寝ている

車の走行音、憂鬱な鳩の鳴き声。

進行係は涼子をじっと見る、涼子は寝たまま、無駄な時  
間が過ぎる。

進行係はメガホンを取り出す。

進行係

・・・毎度、お騒がせしております、市議会議員候補の、みどり町み  
どり、みどり町、みどりでございます。  
みどり町みどり みどり町みどり、みどり町みどりを皆様・・・

涼子、選挙カーの騒音でやっと起きる

涼子

・・・（煩そうに、顔をしかめる）

そのうち、選挙カー（進行係）はいなく成る

涼子

あゝ・・・

涼子はおぼつかない足取りで、カウンターに行き蛇口をひねる。

ヤカンに水を入れてみると、スマホが鳴る。

涼子  
わあ……

涼子は、ヤカンを置いて、電話に出る

涼子  
はい、涼子です……

進行係  
はい、おつかれ〜〜涼子ちゃん？ あれ？寝起き？

涼子  
いえ、大丈夫です。

進行係  
なにに、夜遅くまで、何してたの？

涼子  
……追加のカラーですよ、今朝送りしましたけど、届いてますか？

進行係  
あ、そっか、ごめんごめん、

涼子  
いえ……どうでしたか？

進行係  
あゝ、まだ俺PC開いてないんだゝ

涼子  
ああ……

進行係  
それで、それじゃなくて、桃色桜色イズムの方なんだけど

涼子  
あ、はい、ちょっとまってください（パソコンの前に座り直す）

進行係  
うんうん、まあねえ、まず、いいねえ、さすがだよ、さすが。

涼子  
ありがとうございます……

進行係  
でもねえ……全然、これじゃあ、駄目だよ！男のスイッチの秘

密、全然わかってない

涼子  
……はい、あの……

進行係  
うん、もうすこし、はだけさせてくれる？ あと、パンツもさあ、

涼子  
こんな色じゃだめだよ、もっと艶のある紫色にして……

進行係  
はあ……でもこの子、二十歳ですよ

涼子  
二十歳だよ？

涼子  
……はい

進行係  
うん、あとさあ、この人妻しおりさん、汗かき過ぎ（笑う）

涼子  
なに？サウナなの？

進行係  
え……いや、それはこないだ加藤さんが……

涼子  
え、俺そんな事言ったかなあ？

進行係  
あの、メールでも……

涼子  
あのさあ！ そういうんじゃないんだよ！ プロなんだから、お金

進行係  
貰ってるんだからさあ！ 言われた通りの事じゃなくて、言われた

以上の事やろうよ!!

涼子 ……すみません

進行係 もうさ、いい年なんだから……まあいいや、じゃあ、戻しは明日のイチバンでお願いね

涼子 えっ

進行係 なに？

涼子 5日前に送ったんですから、せめて……

進行係 ……あゝ、ああ！俺が悪かった、俺の連絡が遅かった、俺の仕事が遅いのが悪かったよ!!!!

涼子 ……い、いや、大丈夫です、やれます

進行係 ……あつりがとうゝゝゝ！本当に頼りになるよねえ！じゃ！

電話、一方的に切れる

涼子 ……（くそっ!!）!!

涼子はコンロにヤカンをかけるが、火がつかない

涼子 ……まさか……うそでしょ……

玄関の方へ行き、手紙とチラシの束を取ってくる

進行係 再三のお知らせにかかわらず、お支払いが確認出来なかった為、供給を……

涼子 ウツソ！ああ！……あゝゝゝもうっ！

涼子は仕方ないので、コップに水を入れて、レンジに  
れ、乱暴に扉を閉める。

不安になって、（レンジが壊れてないか）恐る恐るスイツ  
チを入れる

そのへんに転がっていたカバンから、  
財布を取り出し、金を数えだす

### M3 「貧乏は怪談より」



涼子

♪ひい、ふう、みい、よ、いつつ、このつ

私にだれか 教えて頂戴

金は天下の 回り物って

気休めの言葉 それでもいい

♪一枚足りない どころじゃない

私にだれか 教えて頂戴

怖い話じゃ 無いんだからね

生きるか死ぬか 大問題

♪貧乏は 怪談より恐ろしい

教科書には 載って無かった

貧乏は 怪談より恐ろしい

どんな仕事も 有るだけマシって

進行係

「お支払いの お知らせ

期限までに 支払いを

今なら ポイント沢山

クレジットで お得に

どうです どうです どうです？」

涼子

♪しようもない 絵描いて

しようもない オヤジに

ドヤ顔で ああ！

ダメ出し！？

セクハラ！？

上等じゃん！

畜生！

♪どんな絵か 知りたい？

駄目よ ダメダメ

企業秘密

ママには 秘密・・・！

突然ブレーカー落ちる 同時に音楽止まる

室内は薄暗くなる。

妙な静けさと、外から憂鬱な鳩の鳴き声  
涼子は、ブレーカーを戻そうと、箒でつつくが、  
うまくいかない

涼子 くそっ……

諦めて、ソファにどっかり座る

涼子 ……(ああ……)………

M4 「三十路のシンデレラは王子様の夢を見るか」

涼子 ♪落ちたブレーカー

期限の過ぎた  
請求の束……

♪いつか王子様が  
来てくれないか 三億円を持って  
ガラスの靴は 要りませんから  
お金だけをネ 持って

♪かみさま お願い  
30で 死んだって構わない  
わたしに金と 時間と才能と  
コネとあと……あと運があれば？

♪かみさま お願い  
何を願うべきか

♪かみさま お願い  
それすら何か 分からないけど

突然、玄関が開く

剛 ちわ〜！ ラーメンと餃子ひとつ！ あと、ビールも付けちゃおう

かな！・・・・・・・・なんちゃって！

間

・・・・・・・・ねえちゃん？ ねえちゃくくん！？ いるでしょ？？

・・・・・・・・なに

うわ！ 暗くない？ 電気つけないの？

べつに

なにしてたの

・・・・・・・・掃除。

剛 涼子  
剛 涼子  
剛 涼子

暗転。音楽。

M5 「刈り上げ男の悲劇」

剛

♪わたしは しがない  
ベンチャー企業の 社長さん  
両サイドは 刈り上げて  
とんがった白い 革靴  
両手は前に・・・こう (陶芸家のポーズ)

♪むかしは 良かった

飲んで騒いで また飲んで  
山の手線の 内側  
ついにオフィス・・・どーん！

♪だけど 世の中キビシイ

離れてく 仲間  
休みがほしい 社員  
俺は中国語 話せない！

♪鳴り止まない 電話 苦情ばかり

気がつきゃ 会社 だれもない  
ああ 水の泡に 消えた 俺の夢  
ああ 田舎者に 厳しい 憧れの  
花の 東京

涼子

だから、あんなに、言ったのに

剛

返す言葉もございません・・・

涼子

それで・・・

ここに住まわしてください！！

剛、見事な土下座

涼子

上手だねえ、土下座

剛 百回くらいやったから。  
涼子 凄いなえ  
剛 それほどでも・・・

しばし間

剛 ——ありがとう姉ちゃん！ 大好き！  
涼子 いや、全くOKしてないし  
剛 ええっ！？  
涼子 えっ！？ なんで？  
剛 なんで！ いいじゃんか！  
涼子 なんでよ・・・  
剛 お願い！ お願い！ お願い！  
涼子 そうやって、わがままばかり・・・  
剛 この通り！

土下座

涼子 見飽きた。  
剛 弟が！ 切符を買う金も無くて！ アイフォン売って、そのお金で  
涼子 やつとこさ来たんだよ！？  
涼子 だから、なに！  
剛 あんたの部屋、もう無いよ、物置だもん  
涼子 大丈夫！ おれ掃除するから！  
剛 ……イヤ！  
涼子 なんでよ！  
剛 ええ・・・母さん達の方に行けばいいじゃん  
涼子 嫌だよ！ 再婚してよろしくヤツてんだもん！ 水さすなよ！  
剛 つーか、何で北海道まで行かなきゃいけないんだよ！  
涼子 ここは、私が貰ったの！  
剛 だから、そもそも、なんで姉ちゃんのものみたいになってんだよ！  
涼子 いや、それは、誰も住まないから私が今まで管理してたんだから  
剛 管理って、タダで居座っていただけだろ！  
涼子 じゃあ誰にお金払うのさ、  
剛 母さんに払えばいいだろ、っていうか、本当に一銭も払って無いの  
かよ！

涼子 ……関係無いし

剛 恥を知れよ！ いい大人が！

涼子 はあく！？

会社ブツ潰したやつに言われたくないんですけど！（嫌味っぽく）

剛、シヨックのあまり膝をつく

剛 ああ……！

涼子 なに！

剛 ……負けるか！ もう土下座しないぞ！

剛、すつくと立ち上がる

剛 大体、姉ちゃんはいつつも甘やかされてさ、家のお金も全部、

姉ちゃんが大学の学費に使っちゃうし、家くらい、ケチケチするなよ！

涼子 何、関係ないでしょ？

剛 関係、おおありよ！

涼子 なに！

剛 あと、200万あれば、なんとか乗り切れたんだよ、あとほんの少しだったんだ！ そうすれば、今年さえ越せば！ そもそも姉ちゃんが美大なんか行かなきゃ！

涼子 責任転嫁しないで、あなたの能力不足でしょ！

剛 そんなことない！そんなこと無い！！

涼子 いや、あとせめて……100——

剛 無理なものは無理！ 仮に一億あったって

涼子 一億……一億だって！

剛 あんたの責任！ あんたが悪いんですよ！私のせいにならないで！！！！ あんたが悪いの！！！！！！

剛 い……

涼子 っていうか、借金とか、大丈夫でしょうね！！ 嫌よ私！ 借金取りが家に来たり！

剛 俺……

涼子 そもそも、私はず……と無理だって

剛 喋らせてよ！

間

涼子

……

剛

……なんだよ

涼子

……どうぞ

剛

……あ……い……あ

涼子

なに？

剛

いきなりだと、何から話していいか

涼子

……そんなんだから、会社もつぶれんだよ

剛

ツツ！！……

剛はついに膝をつく

剛

でも、もう泣かないぞ！

涼子

……キツモ。

剛

——アタナには分からないでしょうけどねえッ！

涼子

アド……アド……もう少し……もう少しデエ……ッ！

剛

この世の中を……、うわわああーん！ この、この世の中ああーあ

涼子

ッ！ うわああああーああ！ この……世の中……、ああーッ！ 世

剛

の中をッ……変えたい！

剛、わんわん泣く

涼子

ちよ、ちよっと、辞めてよ……ご近所さんになって……

剛

ウワワアアア……俺が悪いんですよオ！ 俺が……

涼子

……

剛、玄関を開けて叫ぶ

剛

みなさああああん！ ここに悪者が居ますよ……！

涼子

辞め……辞め……！

涼子は剛を引きずり込んでガクガク揺らす

剛

なにすんだよお！ 警察呼ぶぞ！

涼子

このままじゃ、呼ばなくても来るよ！

剛 じゃあ、お替りだ！（携帯をかけようとするが、どこにも無い）  
——売っちゃったんだっ！—— 畜生！！  
涼子 ……（若干引く）  
もう！ イヤだ……………

剛、さめざめと泣く  
（その、何もうまく行かない様子は、さっきの涼子と妙に被って見える）

涼子 ……

剛 ……ほんとに、ほんとうに、後少し耐えれば、うまく行くはずだったんだよ……………

涼子 ……  
（スマホで泣いてる剛を撮影する）

剛 撮るなよ！！

涼子 ……ちえ！

剛 ……ちえ！

剛、グツタリする。

しばし間 憂鬱な鳩の鳴き声  
涼子は、1人お茶を用意し、飲む

剛 ……俺のは？

涼子 ええ……………  
涼子は面倒くさそうに、剛にも渡す。

涼子 はい

剛、飲む、多少落ち着く

剛 ……姉ちゃんは凄いやな、自分の好きな事仕事に出来て  
涼子 なに、いきなり



剛 だって、そうじゃん、バイトとかしてないんだろ？  
涼子 ま・・・まあね、一応・・・首の皮一枚。  
剛 ……そう

間

涼子 ……絶対、許さないから、絶対、帰ってよ  
剛 ええ！ 今、今いい感じだったじゃん！  
涼子 嫌！！  
剛 ねえちゃん！頼むよ！ お願いお願いお願い！  
涼子 ……（奥へ行こうとする）  
剛 お願いお願いお願い・・・ちょっと、どこいくの？？  
涼子 （無視）  
剛 ねえちゃん！  
涼子 近寄らないで！  
剛 嫌だよ！ 近づくよ！  
涼子 辞めて辞めて辞めて！！  
剛 じゃあ話聞いてよ！  
涼子 嫌！！  
剛 イヤイヤ期！？  
涼子 ……（無視して奥へいなくなる）  
剛 滑ったみたいじゃん！ ねえ！ だから・・・  
涼子 来ないで！あんた臭いんだから！！！！  
剛 ええ！・・・いやいやいや！ 酷くない？！ 折角実の弟が・・・

ボディシートが剛に向かって飛んでくる

涼子 マジの奴だから！！

剛は、ぽつんと残される。

剛 ええ・・・マジ・・・？

自分を嗅ぐ

剛 ……(自分の匂いに、仰天する)

剛は、ボディシートで体を拭く

M 6 「風呂に入りたい男」

剛 ♪弟は損 昔からそう

姉貴なんか 碌なもんじゃない

ケチでアホ ペチャでポヨン

自分勝手の 人非人

だから姉萌えなんて 実在しない

アトランティス

剛 ♪弟は損 昔からそう

現実なんか 碌なもんじゃない

スマホだって 持ってない

風呂も2日 入ってない

自慢のパーマも 解けかけて

今に鳥の巣さ

剛 ♪今はただ 風呂にはいりたい

♪ねえちゃんなんて 碌なもんじゃない

アニメみたいに 甘くない

電気が消える、薄暗くなる

剛 「おい!!」

涼子の声 「節約!」

剛 「俺、いるんだけど!!」

涼子の声 「せ、つ、や、く!!」

剛 「ふざけんよ!!」

剛 ♪今はただ 風呂にはいりたい

今はただ 風呂にはいりたい

コーラス

♪現実なんて 碌なものじゃない  
アニメみたいに 甘くない

剛

「風呂すら入れない 俺！」

・・・♪いつか金持ちの お姉さまがここに  
迎えに来て くないか  
ポインじゃなくても  
でも黒髪 メガネで  
清楚でお上品  
だけどアツチの方は  
スゴいんです——

剛は歌いながら、どんどん脱いでは体を拭いていく  
そこへ、アカネが入ってくる——黒髪でメガネの女。  
後奏の中、しばし間。

剛

アカネ

・・・  
・・・  
・・・いらっしやい。

1場③

前場の少し後。  
勿体ぶった前奏

M7 「いい女は黒髪（アカネのソロ）」

アカネ ♪私 知ってる

世の中の秘密

年金はどうせ

貰えない

だって日本は

碌な男が

居ないから 仕方ない

バカ バカ バカバカ

だから歌おう

クロ クロ 黒髪

いい女の条件

アカネと剛は、古典風にギクシヤクと挨拶をする。

♪私 知ってる

世の中の秘密

踊るアホに

踊らぬ阿呆

同じ阿呆なら

踊らな損よ

損をするのは 嫌だから

イヤ イヤ イヤイヤ

だから歌おう

クロ クロ 黒髪

いい女の条件

♪人生の喜びは お金じゃないの  
必要なのは 愛と微笑み

♪私知ってる 世の中の秘密

窓の外で、たこ焼き売りの声がする

M 8 「進行係の歌2 (八ちゃん堂の歌)」

——手の脂が無く、紙をめくるのに難儀なアカネと涼子  
(なにやらイラストの作業をしている)

エプロンにゴム手袋、三角巾姿の剛が降りてくる

剛 どうです、たこ焼き、意外に美味しいんですよ  
アカネ お気になさらず。  
剛 まあ、そういわずに  
涼子 迷惑かけんな  
剛 そんな言い方、ある？  
涼子 それにカネ無いでしょ  
剛 たこ焼きくらい  
アカネ 大丈夫です、本当に、もう帰るので  
涼子 そうね、もうこんな時間だし・・・今日病院？バイト？  
アカネ どっちも  
涼子 あんまり無理しないでよ  
アカネ うん、ありがと  
涼子 お婆さん、大丈夫？  
アカネ 最近は、結構、調子良いみたい  
涼子 そう、よかった。  
剛 じゃ、またよろしく！  
涼子 お、送っていきますよ  
剛 迷惑かけんなって！！  
アカネ 突っかかるなよ！  
涼子 大丈夫  
アカネ 嫌です、ってハッキリ言いな！  
剛 それじゃ、また  
涼子 また、いつでも来てくださいね！  
アカネ 来てるよ、もう何回も  
涼子 お疲れ様  
お疲れ様

剛 お疲れ様でした！

アカネ去る

涼子 ほら、掃除の続き、ほら！（手を鳴らしながら）

剛 人使いが（荒い）！

涼子 サボるから

剛 ちよつと、休憩！

涼子 お茶

剛 ええ〜

涼子 お茶！

剛 はいはい

剛はお茶を用意して、涼子に渡し、  
自分もソファに、どっかり座る

剛 これ、釣瓶の麦茶？

涼子 釣瓶。

しばし間

剛 ……アカネさんと作ってるのって、絵本？

涼子 いや、ちよつと違うけど、まあ、似たような…文字は無いけど。

剛 画集みたいなの？

涼子 そう、写真集みたいなの、テーマが有って、アカネが取りまとめる  
んだけどね、昔の同期で集まって

剛 ……儲かるの？

涼子 完全に赤字の、自腹。

剛 ……しよっぱ。

涼子 ニーズがね…

剛 じゃあ、仕事とは別でやってんだ

涼子 まあ、みんなそんな感じかな…

他にも何人か居て、広告屋のデザイナーと、メガネ屋と、  
実家の乾物屋を継いだやつと…あとなんだっけ、鈴木は――

剛は涼子の話を聞きながら、本棚から本を取り出して、

中身を見る、驚く剛。  
一度本を戻す。

剛 ーねえちゃんって、最近どんな仕事してんの  
涼子 ！！（むせる）

剛 大丈夫！？

涼子 いろいろ・・・いろいろよ

剛 見せてよ、ちよっと・・・

涼子 ダメダメ、だめ！だめ！！ 企業秘密！！

剛 ちえ、アカネさんに聞いてみようかな

涼子 マジでやめて！ そういうの良いから、そんな暇あったら、タウン

ワーク見ろ、タウンワークを

剛・・・へーへー

涼子 てか、ほら、掃除しろ掃除！ 風呂だって、タダじゃないんだ

剛 わかりましたよ・・・・・・むっちりにいに先生！

涼子 ブツ！（驚く）

剛は本を手取る

剛・・・ねえちゃん、絵本やめたの???

涼子 あ、あんたねえ・・・

剛 まあ俺、これも良いと思うけどさあ

涼子 やめて！やめて！やめて！ 見ないで！！！！

剛 絵本どうしたのよ

涼子 いいから、とにかくそれ置いて！！

剛は本を置く

涼子 私だって、私だって、本当は・・・でも、仕方ないでしょ！

剛 驚いたわ、大人の絵本に転向したのかと思ったわ。

涼子 バカにしないで

剛 してないよ・・・見られたく無いなら隠しとけばいいのに

涼子 そりゃ、でも、資料で見ることもあるし、一応わたしの作品だから・・・

剛 なんだ、それ！ いびつ！

涼子 悪かったね！

剛 丁寧にかバーまで掛け変えて・・・

涼子 余計なお世話！

剛 ……ねえ、アカネさんとの絵もいいと思うけど、ねえちゃん、本業は絵本だろ？ 本の方はどうなんだよ？

涼子 ……最近、忙しくて、あんまり。

剛 ……というか、前出したやつも返し終わってないし。

涼子 ……そう、俺ねえちゃんの絵本好きだからさ、残念だわ

剛 そ、ありがと

涼子 てつきり、もつとバリバリ描いてるもんだと・・・

剛 そりゃ、すみませんね！！

涼子 そういうんじゃないくて、お金かけ無くても、今はネットとかでき

剛 あ・・・

涼子 ……（無言で机の上の資料に八つ当たりする）

剛 （逆鱗を掠めた事を察して）そういうつもりじゃない、ごめん

涼子 ……いや、私こそ、ごめん

しばし間

涼子 金が――

剛 ああ！・・・（涼子を見ている）

涼子 え、なに？・・・怖いんだけど、こっちは見ないでよ

剛 ……（本と、涼子を交互に見ている）

涼子 なになになに！ だから、なに！？

剛 タウンワークを見ろよ、タウンワークを！

涼子 ねえちゃん

剛 ……なに？

涼子 姉ちゃんは、男のスイッチの秘密、知ってる？

剛 （咳き込む）・・・ちよ、ちよ、ちよと！……！やめて！

涼子、避難する

涼子 なんなの、本当。みんな、マジで、素人のダメ出しとか良いから！！

大仰な音楽

M9 「渡る世間の・・・」



剛

♪男の子の 秘密  
教えて あげる  
ほんの 少しの  
時間 でOK  
さあ よく聞いて

♪これを 一口  
飲めばいいのさ  
オッパイ 大きく  
お尻は アゲアゲ  
君も あなたも 憧れボデー〜!

♪世の中 つらいぜ  
渡る世間は 鬼だらけ  
そんな アタナに  
切り札 あげよう  
そう あげよう  
とっておき あげよう!

♪これ飲めば  
おしりと オッパイ  
上げて 上げて  
大きく 大きく・・・

盛り上がる剛  
呆れた目で見ている涼子

剛

男バージョンもあるけど、ソツチのほうがいい？  
・・・♪男の 自信 大きく漲る パワー・・・

涼子

マジ無理！ 辞めて！！  
だろ？

剛

♪夢は 大きく  
大きく 描こう

剛

君の魅力は 十分知っている だけど

「これを飲めば もっともっともっと！」

シ・ア・ワ・セ !

男はみんな 馬鹿ばかり だから

でも女以外は 男なんだから

「仕方ないさ だからこれを 飲んじゃお！」

♪夢のサプリを 君の手に！

夢の切符を 君の手に！

今なら 1袋8000円

「のところが 2袋で 4000円也ー！」

涼子 …… どういう事？

剛 だから、パイオツが

涼子 それは聞いた

剛 サプリだよ、サプリ！ 百円ショップで買ってきたような安いサプリのパッケージ張り替えて、高値で転売するんだ、こんな感じで！

例の本のカバーを指す

涼子 ……

剛 心配いらないよ、中身を開けなければ、ただ、期待できる成分が普通のやつより少ないだけだから

涼子 そんなの、買うやついんの

剛 それは、俺に任せといてよ

涼子 そんな…そんな…

剛 じゃあ、姉ちゃんはこのままエロ本の挿絵書いて一生過ごすのかよ！

涼子 ……偉そうに…仕方ないでしょ、何度も言うけど、こんな仕事でも有るだけー

剛 有るだけ感謝ってのは分かるよ

涼子 ……そう

剛 でも、それでどうすんだよ、肝心の、姉ちゃんの夢はどうすんだよ、今でさえ時間も金も無いんだろ？

涼子 ……

剛 このままズルズル、趣味で絵本書こうと思ってるババアになりたいのかよ！ 俺はそうなってほしくないよ！

涼子 あんたに、あんたに何がわかるのよ！……！……！

涼子、資料を投げつける

剛 現実から目を背けんな！（エロ本のページ開いてを突きつけて）  
涼子 ギャー！・・・やめてー！！

剛 なあ！

涼子 やめてって！

剛 ねえちゃん、なんで断るんだよ

涼子 なんてって・・・

剛 いい話だろ？ さっきも言ったけど、うまく行けば、俺の借金もすぐ返せるし、ねえちゃんのおカネに余裕が出来て、こんな変な仕事しなくて良くなるんだよ

涼子 そりゃ、そうかもね！でもさ・・・真っ当じゃない！

剛 これが、真っ当な生活かよ！ ガスだって止められて！

涼子 （言葉に詰まる）

剛 よっしゃ！

涼子 いや、○×って言ってないし！ 勝手に決めないでよ！

剛 なに分からず屋な事言ってるんだよ！

涼子 ねえちゃん！ 自分の作品つくりたいだろ？

剛 絵本、集中して描きたいだろ？

涼子 俺もこんな所で・・・

涼子 知ったような口聞かないでよ！！！！

涼子の剣幕に 白ける

剛 ……あ、ごめん、もしかして生理――

涼子 （手近なものを投げつける）

剛 うわ！ ごめんって！！

涼子 ……こんな、犯罪まがいの事・・・

剛 法律なんて時代によって変わるんだから

涼子 あんたねえ！

剛 ねえちゃん！ このまま、世間にやられっぱなしでいいのかよ！

涼子 ああ〜〜！ うるさい、うるさい、うるさい！！

涼子、上に上がる

音楽 かすかに始まる

(涼子がキレると、ラップが始まる)

## M10 「不死身の男」

剛 ねえ！

涼子 くるな！ 覗くな！ 着替えるから！

剛 はあ！？ わかったよ！・・・どこからくの？

涼子 (無視)

剛 ねえ！

涼子 (無視)

剛 ちえー！ 直ぐそうやって・・・さあ！大人なのに・・・

あぁー！ クン！

剛 ♪バカ野郎には 判らなはげん

ねえちゃんには 無視をわろはげん

世間は俺を 無視出来なは

♪俺は不死身 何度でも

アイデアと 男気で

成功する いっただってさう

今はちよっと 運がないだけ

ドタドタと、涼子が降りてくる

剛 ねえ、考えといてよー！

涼子 (無言で、睨む) (ラップには、死んでも参加したくなは) (

剛 ねえー！

涼子は、ピシヤリと玄関を閉めて行ってしまふ

剛 ♪俺は平気 いっただって

信念と まじりこぼす

成功する いっただって

いまはちよっと 運がないだけ

進行係

♪成功の条件は たったひとつ

剛



何か流行りの歌詞を適当に文字って  
 「成功の条件は たったひとつに続くようにラップ。」

進行係

♪ 成功の条件は たったひとつ

剛

♪ Don t lose it

Don t throw away

Don t escape

Just keep it believe yourself

テンテン盛り上がる

剛・進行係

♪ 今こそ 勝負の時を 使っちゃおう

今こそ 勝負の時を Let s do it

俺だけが使える 必殺技

俺だけが使える 必殺技

一発逆転 狙っちゃおう

Everybody say ウンアンウ Hey

Everybody say ウンアンウ Let s say Hey

ウンアンウ Let s come on Let s shout it

ウンアンウ Hey Say yeah

大見得を切って——剛は電話をかける

剛

・・・ねえ、母ちゃん、あのさあ、姉ちゃんがさあ・・・

暗転

1場④

某探偵風の音楽、進行係。

M11 「進行係の歌3（探偵のテーマ）」

進行係

♪安心安全 プロの仕事です  
どんな依頼も 断りません  
あなたの願い 何でも聞きます

剛 「いま、気になっている人が居るんですが……」

進行係

♪おまかせください 家族構成  
生活リズム 味の好みまで  
あなたの為に お調べします

剛 「いやあ、初めてで緊張したんですけど、丁寧に相談にのってくれて、

安心できました！」

進行係

♪お問い合わせはこちらまで！  
メガネのマークの 江戸川探偵事務所！

暗転

前場の、その夜

誰もいない

鈴虫だかフクロウだかの鳴き声、車の走行音。  
遠くにCMの音がかすかに聞こえる（M11）

荒く玄関を開ける音

千鳥足の涼子が帰ってくる

涼子 たらいまあ〜

間

涼子 ただいまあ！

剛が降りてくる

剛 なんだよ、酔っ払ってんの？？

涼子 ただいまあ。(小さな声で)

剛 え？ なに？？

涼子は剛を手招きして、耳打ちする。

涼子 ただいまー！！ (一層大きな声で)

剛 うお！！

涼子 (ケラケラ笑っている)

剛 耳が・・・耳が・・・

涼子 (尚笑っている)

剛 何すんだよ、もう・・・フラフラじゃねえか、みっともない・・・

涼子 酔っぱらって、いません！！

剛 そんな古典的な台詞、言う？

涼子 うるさいねえ！ あんたは！！！！

剛 あんまり大きな声出すなって！ もう夜だから！！

剛は涼子を座らせて、水を取りに行く。

剛 ほら、少しはシャキッと・・・

剛が振り返ると、涼子は打って変わってうなだれている。

涼子 ……(明らかに落ち込んでいる)

剛 ええ・・・なんだコレ・・・はい、水

涼子 (受け取る)

剛 理由、聞く感じ？

涼子 (うなづく)

剛 面倒くさ・・・

涼子 (ボソボソ話し始める)

剛 え？ ちょっと、聞こえないんだけど・・・

剛が耳を近づけた所で、

涼子 悪かったね!! 面倒くさくて!! (大声)

剛 ああ!!

涼子 (笑う)

剛 畜生………2回も………

涼子、また突然落ち込み、さめざめ泣く

剛 え? 今度は泣くの??

涼子 くやしいいい

剛 ……わかったよ、わかったよ、聞くよ!

その代わり、大声はやめろよ、もう夜なんだから――

涼子は、スタンダップコメディ風に歌う。

## M12 シンドい女の悲劇

涼子 ♪わかってる 悪いのは私

世間知らずは 自己責任

♪悔しい

恥ずかしい

悔しい シンドい!

ああ~~~~ 嫌になっちゃうよ!

「失礼! でも少しは……

ああ! 何を今更! 恥ずかしい事があるんだ!

でもだって、期待してたのは本当何だもの!

ついに私にも チャンスが! って。」

♪わかってる アホなのは私

世間はそんな 甘くない

だけど

コレは少し



やりすぎ じゃない？  
こんなバチ当たる 心当たりは無いよ！

「ある日ね、プロデューサーって人から連絡があつて。是非君の絵を見せて欲しいって。

もう大喜びで、スグ送ったわ！

顔写真付きでね。22のときに撮ったやつ。

ついに私にも チャンスが！！

あんまり期待しては駄目だって、自分に言い聞かせてたけど。

でも、今回は向こうから声かけて来たんだもの。

少し、いや多少は・・・結構・・・うくん、爆裂に期待してたわ。だって、ここ最近はずメツキりこういうことは無かったから！」

「それで、向こうの反応、どうだったと思う？

素晴らしい！ スグ本を出そう！ ノー！ そんなんじゃない

こんなの使い物にならないよ！ ノー！ そんな訳ない。

なんて言ったかったかって？ 知りたい？ 早く言えって？

判るでしょ・・・喋りたくないのよ！

・・・系列のアートスクールに、50万出して1年通えば、デビューさせてあげるよ ってさ！」

#### オチの音楽

♪わかつてる 悪いのは私

世間はそんな 甘くない

悔しい

恥ずかしい

悔しい シンドい！

ああ~~~~ ふざけないでよ！

涼子は曲が終わると、流れる様にまた落ち込む

涼子

剛

涼子

・・・

そ・・・それは・・・

ふざけないでよお！！！！（剛に向かって大声）

剛 ああ!!  
涼子 何が・・・いい大人が50万も出せないのかって・・・  
剛 まさか3回も・・・くそ・・・  
涼子 50万ポツチの覚悟も無いのかって・・・  
剛 耳が・・・  
涼子 ふぎけないでよ!!  
剛 ヒイ!

間

涼子 もうシンドいわ、本当に、キツイ。  
剛 ……ねえちゃん・・・  
涼子 なくにやってんだろ、こんな、27にもなって。  
剛 29だよ。俺が27だから。  
涼子 もう、やめようかな・・・なんて! アハハ!  
剛 ……冗談! あゝ風呂でも入ろう  
涼子 ガス、止められてるんだろ。  
剛 ……ああ・・・

間、うなだれる2人

剛 金がないって、シンドいよな。  
涼子 ……いや、違う、おネカじゃないよ? 話聞いてた? たしかに今の、ガスの状況は、完全にお金だけど・・・  
剛 だから、折角デビューのチャンスをお金が無いから棒に振ったってことだろ?  
涼子 いや、だから結局、お金払って、通ったとしても・・・もう良いや。  
剛 え? どういう事?? ……え?? なに?  
涼子 あんたに話した、私が馬鹿だったよ。  
剛 どういう事だよ  
涼子 それに、あんた、この流れで、昼間の話に載せようとしてるでしょ・・・  
剛 凶星!  
涼子 違うし!  
剛 あゝゝゝ本当に、あんたに話した、私が馬鹿だった!  
剛 ちよっと待てよ、少なくとも心配してるのは確か・・・

涼子 ありがと！！ あんたにまで搾取されるところだった！  
剛 搾取って、半々だって！  
涼子 はいはい……

携帯が鳴る

剛 待てよ！  
涼子 うっぎ  
剛 ちょッ、待てよ！  
涼子 うるさい！……母さんからだよ  
剛 (驚く)……あ、まあ、いいや、じゃ、お休み！

剛、そそくさといなくなる

涼子 もしもし  
進行係 ごめんねえ、夜中に、剛、そっちに着いた？  
涼子 うん、今日の昼くらいに来た  
進行係 そう、良かった、無事ついたので、よろしくね、ごめんね、お母さん  
涼子 北海道だからさ、流石にこっちに来るのはちよつとあれでしょ  
進行係 いいよ、わたしもタダで住んでるし  
涼子 本当よ、どう、最近、ちゃんと食べてる？  
進行係 え？ なに？  
もしもし！  
涼子 ああ、聞こえる、なに？  
進行係 最近ちゃんと食べてるでしょうね、レトルトばかりじゃ駄目よ  
涼子 大丈夫だよ、  
進行係 そう、きちんと寝てるんでしょね  
涼子 うん、大丈夫  
進行係 そう、なら良かったけど……あの子の分も、ご飯作ってあげてね  
涼子 まあ……その辺は上手くやるよ  
進行係 そう、よろしくね。  
涼子 うん……あのさ  
進行係 なに？  
涼子 あの……なんていうか……  
進行係 なに？……  
涼子 ……なんていうか、私、絵を描くの、辞めるって言ったたら、どう

思う???

・・・

だから、つまり、その、この仕事もう、厳しいっていうか、あんまり先が見えないし、30超えたら転職一気に厳しくなるって言うからさ、今のうちに・・・なんていうか・・・

・・・

・・・いや、まだ決めたわけじゃないけど、その、美大までして貰ったし・・・なんていうか・・・その・・・あれ? もしもし? 聞こえてる?

・・・

嘘でしょ・・・切れてる (スマホを切る)

呆然とする涼子、自分の発言を後悔し、恥ずかしくなり、愚かな自分に打ちのめされる。

電話 再び鳴る。

涼子 はいはい・・・(出る)

進行係 ごめんね、切れちゃったみたいで、電波わるいのよ、ここ

涼子 いや・・・うん、そう・・・あの――

進行係 あのねえ! 言い忘れてたけどねえ、その家、あの子の開業資金の抵当に入ってるから、多分やばいと思うわよ、母さんよくわからないけど、多分、ちよつと聞いてみて、あの子に

涼子 えっ・・・ちよつと、え、どういう事?

進行係 あんたに言うどまた文句言いそうだから黙ってたんだけど

涼子 えっ・・・ちよつと

進行係 あの子には何もしてやれなかったから、せめて最後くらいはって、いい機会だから、あなたも将来の事考えなさいよ。

涼子 嘘でしょ・・・

進行係 そういえば、何か言いかけてたけど、何?

涼子 い、いや、何でもない

進行係 そう、じゃあ、元気でね

スマホ切れる

剛が、そろり、そろり、と降りてくる

涼子 あ、あ、あ、あんた!!

剛 涼子 剛 涼子 剛 涼子 剛 涼子

背水の陣！ ガツンと、カマしてやろうぜ！！

どういう事かわかってんの！！

やる気になったっしょ！

ふざけないで！

大丈夫！ 絶対に成功するって！

もう~~~~っ！ なんなの！！！！みんな！！

大丈夫！ 大丈夫！ 大丈夫！・・・

剛の大丈夫の連呼と共に溶暗

暗い中で、剛がひっぱたかれる音と剛の悲鳴。

次の音楽。

2場

進行係の歌とともに、若干イイ服に着替える剛と涼子

M13 「進行係の歌4 (ファスト・ファッション)」

進行係 「さてこの秋冬コレクションで大注目なのが、まずこのボトムス！」

進行係 ♪最高の デニム素材に

熟練の 染めの技術を

手間と お金を

惜しみなく つぎ込んだ

マストな 一品

進行係

「さてこの秋冬コレクションで  
大注目なのがこのボトムス！

最高のデニム素材に熟練の染めの技術

手間とお金を惜しみなくつぎ込んで

なんとこの驚愕のプライス！

お得な・・・(SE:チャリーン)」

剛

すこしは いいだろう

警沢 したって

やじぱり いいもの

着るのは 最高

頑張った 俺に

すこしの褒美

それを着る価値が俺にはあるのさ

涼子

すこしは いいですよ

警沢 したって

やじぱり いいもの

着るのは 最高

頑張った わたしに

すこしのご褒美

それが似合っちゃう私はかわいい

だって

だって

至って 順調

右肩あがり 俺は出たがり

大成功よ 私のおかげよ

だから 少しは

いいでしょう

2人

やっぱり お金があるって 最高

剛

頑張った オレに

涼子

頑張った私に

2人

すこしのご褒美

剛

それを着る価値が俺にはあるのよ

涼子

それが似合っちゃう私はかわいい

進行係

♪カジュアルな 組み合わせから

幅広く 着回し可能

可愛いと かつこい

妥協しない あなたの

マストな 今年の一品

涼子

良いもの着よう

良いもの買おう

剛

すこしは良いだろう

バチあたらんだろう

涼子

大人のステイタス

剛

超クリアランス

男のステイタス

俺を売り出す

進行係

♪主人公は 特別で Special

グレイテストな あなたの人生

音楽と進行係の声、段々遠ざかっていく  
涼子と剛、無機質に次の場の位置に向かう。

進行係

「続いては、この冬に欠かせないこのアイテム  
厳選されたプレミアムな生地はヨーロッパでも大絶賛・・・

音楽と進行係の声、消えると、劇が再開する。

1場より数ヶ月後。

進行係は剛から集荷を行っている。

涼子はPCで作業をしている。

進行係

はい、ではこれで、いつもありがとうございます。

剛

ありがとうございます。

涼子

あざーす

進行係、退場

剛

ねえちゃん、掃除当番だかな

涼子

はいはい、判ってるから

剛

じゃあ早く掃除してよ

涼子

これ終わったら！ 急かさないで！

間

剛

今日、アカネさんは、いつ来るの？

涼子

・・・白々しい！

剛

なにが？

涼子

いいよ別に、気を使わなくて

剛

・・・いや・・・

涼子

・・・え？ まじ？

剛

マジマジ、大真面目

涼子

LINEは？

剛

知ってるけど、なんかキモいじゃん、いきなり聞いたら

涼子

いきなり聞かなきゃいいじゃん

剛

そうなんだけど



涼子 あんた、よくそれで、社長やろうと思ったね  
剛 いや、仕事相手だと全然緊張しないんだけど  
涼子 一緒でしょ  
剛 いや、いや、なんか、違うんだよ  
涼子 ……ヘタレ。  
剛 おい！  
涼子 ちなみに、もうすぐ来るよ、三時くらいって言ってたから  
剛 おい！

剛、急いで上に上がる

涼子 いいじゃん、別に、そのままで  
剛 駄目だよ！  
涼子 ウケるわ  
剛 からかうね！ クソ！ 下、涼子さん来る前にキレイにしとけよ！  
涼子 今やるよ！

涼子は、変わらず一人PCに向かっている。  
呼び鈴

涼子 はい、はい。  
剛 マジか！

涼子は玄関を開ける

涼子 はい  
進行係 アマゾンです  
涼子 誰宛？  
進行係 剛さん宛・・・と、涼子さん宛、2個ですね  
涼子 どうも・・・  
進行係 あざっす！

進行係居なくなる  
スーツに着替えた剛、急いで降りてくる

剛 アマゾンかよ！

涼子  
ほい！

涼子は投げ渡す

剛 アブな！ 取り扱い注意って書いてあるだろ！！  
涼子 はいはい・・・何買ったのよ、また  
剛 ねえちゃんこそ  
涼子 私は画材！ 仕事に、使うもの！  
剛 ああ、そう・・・俺は・・・なんだっけ・・・ああ、コレか  
涼子 あんた、買ったもの位覚えて――

涼子が中身を出すと、謎の柄のTシャツ

涼子 ……なにこれ。  
剛 また酔っ払って買ったんじゃないの  
涼子 (明細の日付を見て)――思い出したわ、ダサ過ぎて爆笑ついでに  
剛 いくら？  
涼子 ……4800円、だって。  
剛 無駄使い！！  
涼子 うるさ！  
剛 人の事よく言えたね  
涼子 着てみて  
剛 ええ～・・・  
涼子 ほら、早く！

剛着てみる、絶望的に似合わない

2人 (爆笑する)  
涼子 あゝ！ 五千円の元取れたわ！ (笑っている)  
剛 なんだよこれ！ 誰が、何のために！！ (笑っている)  
涼子 あゝウケる！ それで――

アカネが入って来る

アカネ なに、楽しそうじゃん！  
涼子 あ、見て見て！

アカネ (剛の格好をみて、驚く)  
・・・ああ! (絶望する)  
剛 ——何その格好!! (笑いながら「シャツをいじくる」)  
アカネ おお・・・(ねえちゃん、グッジョブ!)  
剛 あ、剛くん意外に良い身体してんね〜  
マジっすか!? 腹筋、見ます??  
アカネ 本当!?  
涼子 ・・・ねえ、何しにきたの?  
アカネ ああ、ごめん、ごめん!

アカネは資料を取り出し始める

アカネ はい、じゃじゃーん!  
涼子 ありがとう  
剛 おお・・・!  
涼子 こうして見ると、なかなか・・・  
剛 すげ〜  
アカネ っつか、涼子、バズってたじゃん凄くない??  
涼子 いや、プチバズだよ、6000位だもん  
アカネ でも、最低でも6000人が涼子の絵を良いと思ったんだよ!  
凄くない??  
涼子 え、まあ、まあ、嬉しいよ  
アカネ ついに、追い風が吹いて来た感があるね  
涼子 いや、そんなこと、  
アカネ それに、だって、ほら、あのヒカリ出版社の・・・  
涼子 佐藤さん?  
アカネ そうそう、いつなの?  
涼子 ・・・今日。  
アカネ マジで!  
涼子 まあ、どんなどころかわかんないけど・・・  
アカネ 良いの? 時間!?  
涼子 まあ、そろそろ・・・  
アカネ 早く行きなよ!!  
涼子 いや、まだ多少・・・それでさ、こないだラインしたんだけど  
アカネ え、うん、・・・ああ。  
涼子 ほら、この後、もう少しさ、量増やせないかな

アカネ ……今から???

涼子 うん、ほらあのバズってたシリーズもさ

アカネ ごめん、企画の段階には無かったから、ちよつと…

涼子 でも、ほら、あれが載ってるよ〜って宣伝も出来るし

アカネ でも、他の人との兼ね合いもあるし

涼子 いやでもー

アカネ それに、今から色やって、どうのって納期がまにあわないし、

涼子 特急料金は私が負担するからさ

アカネ いや、そういう問題じゃないし、いまからまたページ割考えるって

アカネ のも、皆の了承得ないと行けないし

涼子 ……でもさ、売れないと意味ないじゃん

アカネ 別にお金のためにやってるわけじゃないし、何回も言うけど、

涼子 企画段階に無かったものを急に押し込むってのはさ、違うじゃん

涼子 なんでよ、いいじゃん、おまけみたいな感じで

アカネ 無理無理無理、私の構想に合わないもん

涼子 少しでいいよ、じゃあ、私のあとがきページに乗せるから

アカネ いや、あそこの校正大変だったじゃん、何? ページワンにするの???

涼子 いいよ、校正は、私の責任で――

アカネ だから、そういう校正ミス有ると、本の全体のクオリティがさあ、

涼子 お金だして買ってもらうんだから――

アカネ で製品じゃないじゃない、お金の為じゃないんでしょ

涼子 でも、作品でしょ!!! 勝手言わないでよ、

アカネ そんなに好き勝手やりたいなら、自分で出せば???

涼子 お金は有るんでしょ?

しらける

アカネ ……ごめん

涼子 いや、私こそ、ごめん、いいよ、このままで。

アカネ ……

しばし、間

アカネ じゃあ、私帰るわ

涼子 そう、じゃあね

アカネは出ていく

剛

・・・

涼子

なに、文句あんの？

剛

いや・・・

涼子

今日、遅くなるかも、結構遠いから

剛

そう・・・あの

涼子

なに！

剛

・・・掃除・・・

涼子

ああ。

剛

・・・俺がやっつくよ

涼子

そう、ありがとう

涼子は上に上がる

剛は、渋々掃除し始める

例の如くラップが始まる

M14

「最強の女」

剛

地震カミナリ 火事おやじ

いろんな災害有るけれど

この世の一番

触れてはいけない

デインジャラス

涼子

じゃ。

剛

いってらっしゃいませ・・・。

涼子は出ていく

剛

ゴリゴリマッチョ インテリも

男は結局勝てないのだ

子供を 生むのは

母親 なのだ

仕方ない

進行係  
剛 ♪不機嫌な お姉さまは 恐ろしい  
女は 怖い

女は 恐ろしい  
女は・・・素晴らしい「オキーンだよ」

進行係 ♪不機嫌な お姉さまは 素晴らしい

剛 女は 怖い

女は 恐ろしい

女は・・・素晴らしい「オキーンだよ」

進行係 ♪不機嫌な お嬢様は おそろしい

剛 *She is scary*

*She is horrible*

*She is wonderful = It is true=*

進行係 ♪不機嫌な お嬢様は 素晴らしい

*She is scary*

*She is horrible*

*She is wonderful = It is true=*

アカネが入ってくる

剛 あ、ねえちゃん行っちゃいましたよ

アカネ ああ、そう、ごめん、忘れ物

そうですか

剛 うん・・・

アカネは、資料の山をめくっていく

剛 ……どれですか、手伝いますよ

アカネ ……えっと・・・(さめざめ泣き始める)

え。ちよっと、大丈夫ですか

剛 大丈夫、大丈夫・・・

アカネは泣き出す

剛  
進行係  
・・・  
「女は恐ろしい！（口パクで）」

剛は、アカネの頭を撫でる  
アカネは、剛の胸に顔を埋める  
面食らう剛、ぎこちなく腕を回す。

妖しく、暗くなる。

―進行係が「自主規制」と書かれた襷を掛けて登場  
童謡「たのしいね」が聞こえてくる。

## M15 「進行係の歌5（たのしいね）」

安っぽいBGM

進行係

はい、いかがでしたでしょうか、この動画が気に入った方は、いいねボタンを押してください。感想、ご意見などもお待ちしております、コメントは全て読ませて頂いています、概要欄に過去動画あります、是非みてください。気に入ったらチャンネル登録もお願いします。最後に、ツイッターやSNSで#たのしいね で呟いてみてください、観に行きます。 それではまた明日ー！！

へっぽこなサウンドロゴ、決めポーズ、2場終わり。

3場

2場より、また、しばらく後。  
涼子は作業をしながら、しきりにスマホを気にしている  
剛は、部屋を掃除している。

剛 中学生かよ

涼子 え？

剛 中学生かって、スマホばっか、気にして

涼子 は、ウツザ

剛 中学生じゃん

涼子 マジうざいんですけど

剛 そんなに気になる？サトシさんのこと

涼子 な、まあ、気にならないといえば、嘘になる――

またスマホ

涼子 ……ちえ。

剛 ……集中しなよ

涼子 なに、偉そうに口挟まないで

剛 だいたい、また怪しいプロデューサーとかじゃないよね、大丈夫なの？

涼子 大丈夫、大丈夫よ、サトシさんはアカネの紹介なんだから

剛 そうなんだ

涼子 サトシさんの友達のLIVE、今度有るんだけどアカネと一緒にいく？

剛 わ！

涼子 結構有名らしいよ、地元では

剛 でた でた でた！！

涼子 なに、文句あんの

剛 ……別に！！

涼子 っていうか、あんたこそ、アカネとどうなのよ。

剛 べつに。どうって事ないよ

涼子 どうって事無い訳ないでしょ

剛 だから、別に、普通！ ……プロポーズする位

涼子 ああ、そう――



間

涼子 (吹き出す) プロポーズ!  
剛 うん  
涼子 なになにないに! え! どういう事!?!?!?  
剛 どうもこうも、言った通りだよ  
涼子 えええええええ!  
剛 良い年した大人、だから  
涼子 うわ! うわ! だって、まだ付き合っても無いでしょ??  
剛 だから、結婚を前提に・・・なに?  
涼子 ヤッバ!!  
剛 ねえちゃんクリエイターだろ、なんでもかんでもヤバい済ませない  
涼子 ほうがいいよ  
剛 誠に遺憾  
涼子 なんでだよ  
剛 誠に重い  
涼子 いや、そうは言っても、アレよ?もうアラサーよ?責任つてもん  
涼子 が・・・え、まじ? 重い?  
涼子 いや、偉い! でも何ていうか  
剛 やっぱり重いかな  
涼子 いや、でも、うーん・・・てか私に聞かないでよ!  
剛 そっちがつついてきたんだろ!  
涼子 いや・・・そうか・・・うわ~~~~マジか~~~~  
剛 ねえちゃんこそ、どうなんだよ  
涼子 え?  
剛 サトシさん  
涼子 ササササササササトシさん??  
剛 ビビりすぎ  
涼子 なんて、なんでよ!ただの担当者だし!  
剛 メッチャわかるから、いいからそういうの  
涼子 いや、なんで、その――  
剛 したの?  
涼子 そ・・・それはビジネス的な?  
剛 プライベート的な、フィジカル的な  
涼子 そそそそそ・・・(吹き出す)  
剛 中学生かよ

涼子 馬鹿にしてる！  
剛 ねえちゃんこそ、俺よりいい歳なんだから、キツチリ話付けときなよ  
涼子 なに！知った口聞いて！  
剛 じゃないと、売れのこり・・・既にだけど  
涼子 馬鹿にして！  
剛 最後のチャンスかもよ  
涼子 そんな前時代的な、私は一人で暮らして行けるから、自分のタイミングできめるの  
剛 何一つ自分で決めないで、ズルズル引っ張られた結果がコレじゃん・・・突っかからないでよ  
涼子 まあ、とにかく防御だけは、ちゃんとしなよ  
剛 だから、中学生かっつての！ てか、あんたこそ心配ご無用  
涼子・・・ゴムとかけたの？  
剛 かけてねえし・・・俺は俺がするんだから心配ないっしょ。  
涼子 しかも、俺は別に、何なら子ども欲しいし。  
剛 ああ・・・そうか・・・うわっ！何か生々しい話聞くとなんだか・・・  
涼子 なんだよ！  
剛 なんてこんな狭い中でくっつくかなあ・・・  
涼子 そんなの、美大、音大とかだと、ザラでしょうよ、何を今更ぐうの音も出ないわ、  
剛 なんて――

剛の携帯が鳴る（アラーム）

剛 あ、やべ！  
涼子 え？ どこ？？  
剛 ちよっと、約束が有って――  
涼子 そう！

剛、慌ただしく上へいく

M16

「三十路のシンデレラは、プロポーズの夢を見るか」

安っぽい、ありがちな歌詞と歌。

涼子

♪人生を共に 歩む誓い  
苦しいときも 楽しいときも  
税金計算 するときも

涼子

♪プロポーズ

進行係

♪バラの花束か プラッシュモブか

涼子

♪プロローグ

進行係

♪幸せな家庭の 導入部分

涼子

♪人生は 不思議な 事だらけね

涼子

♪少し前まで 地の底だった

私の人生

いま初めて 実感を持って

進んでいる

♪

涼子

♪プロポーズ

進行係

♪バラの花束か プラッシュモブか

涼子

♪プロローグ

進行係

♪幸せな家庭の 導入部分

涼子

♪幸せは 不思議ね 感染しちゃうの

アカネが入ってくる

アカネ

おはよう！

涼子

おは・・・

アカネ

剛くんは？

剛がカバンを持って降りてくる

アカネ

あ・・・おはよう

剛

お、おはよう

白々しい2人。

涼子 中学生かよ！

気まずい涼子

涼子 ……いいの？（約束）

剛 あ、ああ！ そうだった！ じゃー！！

アカネ あ、いってらっしゃい…

涼子はアカネをまじまじと見る

アカネ な…なに？

涼子 いや、別に…

アカネ どう、調子は

涼子 順調！

アカネ そりゃ、良かった！

アカネは封筒を取り出して

アカネ 見本

涼子 まってました！…本当、ありがとうね。

アカネ なに、まだ気にしてんの？

涼子 いや…

アカネ 本気でヤツてんだもん、ぶつかる事もあるよ

涼子 うん…

アカネ それにしても、まさか、マジで店頭に並ぶことになるとは、ね。

涼子 本当にそれ…

アカネ マジで嬉しいよね、こんな数することに成るなんて

涼子 それも苦労かけたよね、申し訳ない

アカネ 嬉しい悲鳴だわ、なにより、涼子のツイッターがきっかけなんだか

涼子 ら、それと、サトシさんのお影だわ。

アカネ そんなこと…もう少し見る人の事考えて書いとけばよかった

アカネ なにそれ（笑い）

妙な間

涼子  
アカネ  
（まじまじとアカネを見る）  
・・・なに？

M17 「あいつはいいやつ」（M16 RIP）

涼子  
♪あいつはいいやつ 小学生のとき  
教室の後ろで 皆に飽きられていた  
メダカも カブトムシも  
最後まで 世話していた

アカネ 「え、何？どうしたのよ」

涼子  
♪あいつはいいやつ 道端のゴミ  
きちんと拾う こともある  
あいつはいいやつ 反抗期でも  
母さんをババア って呼ばなかった  
あいつはいいやつ 本当に  
あいつはいいやつ マジで  
いいやつ なんだよ

アカネ  
涼子  
アカネ  
涼子  
アカネ  
涼子  
アカネ  
涼子  
え？  
いい人だね、優しいし。  
あ、ああ、うん・・・そう・・・そうなの・・・その・・・

しばし間

涼子  
アカネ  
うん。  
・・・その・・・（したの？）  
涼子  
アカネ  
・・・その・・・そう！ そりゃ！  
優しかったよ

涼子 そう！・・・それは！・・・ハハ！（良かった！）

アカネ 意外とね、デ・・・

涼子 ストップストップ！！

もういい！もういい！！生々しいやつは、もういい。

アカネ ごめん・・・あ、ねえ、涼子は？

涼子 え？

アカネ サトシさん

涼子 ササササササササトシさん！？

アカネ そう——

涼子のスマホが鳴る

涼子 ……！

アカネ 噂をすれば！

涼子 ちよ、ちよ、からかわないでよ！

アカネ ほら、早く

涼子 あ・・・はい、もしもし。

・・・どうしたんですか？？

・・・アカネ？ アカネなら隣にいますよ

・・・はい・・・アカネ、サトシさんから

アカネ え？ 私？？ はい・・・

——え？（自分のスマホを見て）わあ、ごめんなさい、電池切れて

いて・・・えッ・・・はい・・・はい・・・

ウツソ・・・わかりました・・・はい・・・いやでも・・・

はい・・・はい・・・わかりました・・・一旦切ります・・・

はい・・・（切る）

どうしたの？

涼子 アカネ、落ち着いて・・・私も落ち着いて・・・ええと・・・

簡単に言うと、サトシさん、私達の本のこと、結構、強引に、会社に

黙って進めてみたいで・・・その、会社の別の、お金に手を付けて

みたいで・・・

ウツソ・・・

アカネ 詳しいことはよくわからないけど、今日中に400万、用意して戻さ

ないと、かなりまずい状況なんだって・・・涼子ちゃんに合わせる

顔がないって、泣いてた・・・ねえ、どうしよう涼子・・・

涼子 そんな・・・

アカネ ……なんで、こんなときに…もう少し、もう少しだった

のに…(泣き出す)…私、100万なら用意できる

涼子 え？

アカネ なんとか両親に頼み込んで、100万なら用意できると思う、

困ったときはお互い様だよ、このピンチを乗り越えて、そうしたら

涼子 ー  
そう、そうだよ、うん！ 私も、剛とも、母さんとも相談して、そ

うだよ、三人で協力すれば、なんとか！

アカネ 涼子…

M18 「愚かな女のマーチ」

涼子 ♪いままで わたしは

流されて 生きてきた

認めよう 私は愚かな女

アカネ ♪女だって 覚悟決めれば

なんだって

涼子 ♪なにも決められない

なにも切り開かない

そんな日々はもう 今ぬけどそう

2人 ♪いまこそ 決断のとき

この壁を乗り越えて

いまこそ 勝負のとき

このピンチ切り抜けて

守ろう その光を

涼子は電話をかける

涼子 ……サトシさん！ 切らないで！電話を切らないで！！

……うん……うん……大丈夫、大丈夫、きっとなんと

かなる…私とアカネで協力して、なんとか揃えて見せるから…

……そんな！……うん、うん……だから……

うん……

涼子

♪なにも決められない  
なにも切り開かない  
そんな日々はもう 今ぬけどそう

2人

♪いまこそ 決断のとき  
この壁を 乗り越えて  
つかもう その未来を  
いまこそ 勝負のとき  
このピンチ 切り抜けて  
守ろう 私の幸せを

涼子は、サトシさんへの電話を切ると、そのまま剛に発  
信する

アカネはスマホを真剣な顔でいじり始める

涼子

あいつ、どこにいるかな

玄関の外で、着信音がなる

剛の声

うお！

涼子

……

剛がおずおずと入ってくる

剛

お疲れ様です。

アカネ

おかえり！

涼子

何してたのよ、玄関で

剛

いや、たまたま、偶然だよ

涼子

用事終わったの？

剛

ああ……

剛

それでー

涼子

あのさ！



バッティングする

涼子 ……なに？

剛 いいの？

涼子 うん、先に言っ

剛 珍しい

涼子 なに、早く！

剛 あ…あの、ちよつとアカネさんと2人にしてほしいんだ、大事な話があるから…

間

涼子は剛が先程言っていた事思い出す

涼子 あ、あんた、こんなときに…

剛 ごめん！ ちよつと、ちよつとでいいから！

涼子 ちよつとじゃなくて、10分！ 10分頼むから外に！！

アカネ あ、あの…

涼子 涼子、どうしたの？

剛 いや！ なんでもないっす！

涼子 うん！ なんでもないよ

アカネ そう…ちよつと—

涼子 ……あ、そうだ、ちよつと私、用事が有ったんだった！

アカネ つつべり、忘れてた！

涼子 え、いまこの状態より急を要するの！？

剛 いや、うん、なんていうか、

（10分！）

涼子 20分くらいで終わるかな、駅前に行ってちよつと…

アカネ そう…

剛 ああ、そうなんだ、いってらっしゃい

涼子 うん、じゃあ、ちよつと、じゃあね

——帰ったら、メツチャ大事な話あるから、ずっと家に居てよ！

涼子は出ていく

剛 ……アカネさん

アカネ どうしたの？

剛 俺、あなたにプロポーズ、しようと思ってました。  
アカネ えっ……

剛は、カバンから、メガネのマークの封筒を取り出して、  
中の書類をアカネの前に広げる

アカネ なに――

アカネ、書類を見て、固まる

剛 悪いですけど、探偵に身辺調べて貰ったんです。

アカネ ツ――！

剛 まさか……こんな事に……

アカネ あの……

剛 これ。どういう事なんですか？

間

アカネ いや……あの……その、私たち、付き合っていないよね？

剛 ……

アカネ

ごめんね、勘違いさせちゃって、私達、付き合ってますん……よね?? それにサトシさんとは私はもともと知り合いだったし、2人で遊ぶくらいね……? ホテルじゃないでしょ? 涼子には黙っていてね、いまデリケートな時期だからさ……  
うーん、なんていうか、真剣に考えてくれているのは嬉しいけど、ちよつと急かな……? 何回かヤツたくらいで、彼氏面しないでくれる? 悪いけど――

剛 ……あの、ちゃんと見てください、そんな事じゃないんですよ

剛、書類つまみあげる

初老の男が写っている

剛 何が言いたいかわかりますよね

これが、本物の、ヒカリ出版社の、佐藤サトシさんです、ご存知ですよね。

アカネ ……

剛 これ、詐欺ですよ。姉ちゃんとの本なんて、どこにも準備してないですよ。会社のお金が、何とかって、それ詐欺ですよ。それ持ってドンズラする目論見ですよ。

アカネ 違——

剛 何が違うんですか？

僕に判るように説明してくださいよ。僕の誤解だったら、謝りますから。

アカネ、逡巡する

アカネ ……ごめんなさい！ ごめんなさい！！ ごめんなさい！！！！

剛 私、彼に脅されて・・・本当なの！ お金は後で返すつもりで——支離滅裂ですよ

アカネ 本当なの！！！！ 信じてよ！！

剛 ……

アカネ じゃなければ、親友を裏切る様なまね、すると思うの???

剛 最初は本当にいい人だっと思ってたの・・・でも・・・(泣き出す)  
彼、夜、隠し撮りしていたの・・・それで、お金をタカつてきて・・・  
どんだんエスカレートして行って・・・断ったらあの動画、ネットに個人情報付きで、ばらまくぞって・・・  
・・・どんな嘘つくんですか。それに、やっていいことと悪い事がありますよ

アカネ 剛くんは！ 剛くんは私の味方じゃないの!??

剛 助けてよ！ 信じてよ！！

アカネ 私のこと、もう嫌いになった!??!?  
なに言ってるんですか

剛 ねえ！ 剛くんは私を抱いていて、どう思ったの!??  
思い出して!! 私に嘘つきの味がした?? ねえ!

アカネは服を脱ぎ始める

アカネ ほら、見てよ!!!

この痣!! 明るい所でよく見て!!  
お願い信じて!

M19 「破れかぶれのソロ」

アカネ

♪私はいつでも 心の涙流をしていた  
どんな薬でも 直せないこの傷は  
いつでも いつまでも しつこく痛み続ける

♪お願いよ 私を助けて

私を抱いて 私の心を

お願いよ 私を信じて

罪の深さも 傷跡も

♪全部つつみこんで 私を愛して

どうかお願いよ 私を信じて

♪全部つつみこんで 私を愛して

どうかお願いよ 私を信じて

♪全部つつみこんで 私を愛して

どうかお願いよ 私を信じて

♪全部つつみこんで 私を愛して

どうかお願いよ 私を信じて

♪全部つつみこんで 私を愛して

どうかお願いよ 私を信じて

どうか!

剛

・・・とりあえず、服着てください。

剛はアカネに自分の上着を着せる

アカネ

・・・

剛  
アカネ  
落ちて着いて、ください。

・・・うん。

瞬間、アカネは剛に抱きつく

そして、そのまま首筋に接吻する

アカネは荒い息遣いで、そのまま剛をイスに座らせる

アカネ

涼子は、もう少しの間、戻ってこないでしょ

剛 ……そうですね  
アカネ だから――

アカネが剛のベルトに手を掛け始めた時、  
剛はアカネのスマホを机の上から取り上げる

剛 これは、証拠品として没収です。  
アカネ ちょっ！！（取り返そうとする）

剛はまとわりつくアカネを振りほどき、立ち上がる

アカネ ……全然笑えないんだけど

剛 結構です。

アカネ 返して！！！！

剛 駄目です

アカネ 返して 返して 返して！！！！ 返しなさい！！

剛 駄目です 駄目です 駄目です！

アカネ 泥棒！！ 騙したのね！！ 犯罪者！！

涼子が入ってくる

涼子 騙したのはあんたでしょ！！！！！！

剛 ……早いよ……人が折角、気を使ってたのに。

涼子 ……どうしてよ。

アカネ ……

涼子 どうして！！

アカネ 涼子も私を信じてくれない――

涼子 いい加減にして！！

アカネ つっ！（驚く）

涼子 ……お願い……もう嘘つかないでよ……

アカネ ……

涼子 それ、頂戴

剛 え？

涼子 早く！

剛 ……（アカネのスマホを渡す）

涼子 訴えるつもり、無いから、だから、なんでこんな事したのか教えて

よ  
アカネ  
・・・

アカネは無言でスマホを受け取る

涼子  
ねえ・・・なんで？

アカネ  
・・・ぶっはははははは！！（大笑い）

あ〜〜おかししい！！ 涼子のくせに！！

偉っそうに！！！！

私より顔も、技術も、成績も、下なのに！！

なに見下してんのよ！！！！！！

ばっかみたい、何が「サトシさ〜ん♡」よ！アホ丸出し！！

あいつは立派な詐欺師だよ！！残念だったね！！アハハハ！！

なにが！許せない！私の方がうまいのに！！

少し金持ったくらいで！

少しバズった位で！！！！

大人しく騙されてればよかったのに！！！！

なんでよ！ なんでよ！！ なんでよ！！！！

——なんで私じゃなくてアンタの方が絵の仕事続けてるのよ！！

許さない 許さない 許さない！！！！

アカネは、作業台の道具入れから、切り出しナイフを手に涼子に襲いかかる

剛  
おい！

涼子  
キヤア！

剛  
やめろって！！

アカネ  
ふざけんな！

罵詈雑言飛び交い、もみくちやになる三人、部屋が荒れていく。

何やかんやあって、アカネは突き飛ばされる。

アカネ  
畜生！ 畜生！ 畜生ツツ！！

アカネは走って出ていく。

剛           あッ！ おいッ！！

剛は追いかけて、出ていく。

一人残される、涼子。

涼子           ……しんど

涼子も歩いて出て行き、闇に消える

3場②

その夜

プロローグと同じ、剛が一人タバコを燻らしている。

剛  
.....

剛は、無言で片付けを始める

剛  
.....しんど.....

しばらく後

剛は、電話をかける

涼子がどこか他の場所に、出てくる。

涼子は、着信に気がつくが、取らずに放置する。

やがて、無機質な不在アナウンス

剛  
ねえちゃん、どこに居んの？ いつ帰ってきてくんだよ.....

涼子は座り込み、無言でうなだれている

M20 側道を歩く

涼子  
♪冷たい空気 星空のした

鳥肌ひとつ 立たない

目に映るのは ただただ ただただ

闇に消える 道の向う

【M1 RIP】

♪どうしていつも 上手くいかない

知ってるとおせ ずっとこのまま

♪気付かない ふりして

そのうちに わすれて



♪霞かかった 頭で  
寒空のした さまよう  
何も判らない 何も何も  
知らない 誰が悪いの

【M3 RIP】

♪開けては いけない パンドラの 箱を開けたのは  
私よ 私が 開けたの わたしが 馬鹿な事 そう私が悪いの  
なくした ものを 今欲しがって 悔やんでも  
元から 無かった 私は何も 何もかも そう思い込んでただけ  
私が 悪いの

♪今はただ 暗い道を  
歩くだけ  
行き先は 聞かないで  
お願い

車の走行音、雑踏の音  
かすかに、しかし確実に音楽が聞こえてくる。  
音楽、徐々に高まる

M21 「遡れ時よ リプライズ」(M1 RIP)

進行係  
涼子 ♪さかのぼれ 時よ  
涼子 ♪あのころは まだ暑かった  
アカネ ♪私の友達  
涼子 ♪私の絵は センセーショナルな  
アカネ ♪素敵な友達 頼れるアナタ  
剛 ♪男にはある デックカイ夢が！

進行係  
♪思い出せ 時を  
知りたい事だけ  
繰り返し返せ 時を  
好きな所だけ

アカネ  
♪ 現実には  
剛  
♪ 盛れない  
涼子  
♪ 映えない  
3人  
♪ 需要が無い

進行係  
「だけど続く いつまでも  
長い 長い 坂道は  
いつも何故か 上り坂  
人生楽ありや苦もあるさ  
さよならだけが 人生さ」

進行係  
♪ さかのぼれ 時よ  
さかのぼれ 時よ

剛  
♪ 俺のカネ  
アカネ  
♪ 愛と微笑み  
涼子  
♪ 私の人生を

全員  
♪ さかのぼれ 時よ  
さかのぼれ 時よ  
さかのぼれ 時よ  
さかのぼれ

車の走行音。  
ヘッドライトが煌めく。  
暗転

4場

翌日、朝  
山盛りの吸い殻。  
剛が突っ伏して寝ている。

剛  
.....

戸が開く音  
涼子が入ってくる

剛  
.....(起きる).....(驚く)  
煙た.....何してたの  
.....掃除。  
つまんな。  
涼子

涼子は持っていたビニール袋を置く。

剛  
.....おかえり。  
ただいま。  
早かったね  
剛  
適当に買ってきたから  
涼子  
ありがと。

涼子は手を洗う。  
水の音。  
剛は、ビニール袋を物色する。  
涼子も適当に菓子パンを取る。  
2人、無言で食べる

涼子  
.....  
剛  
昨日  
涼子  
え？  
昨日、道路で、飛び出してやろうかって  
.....へえ！  
剛

